

経営比較分析表（令和6年度決算）

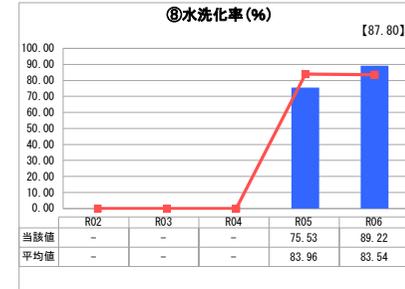
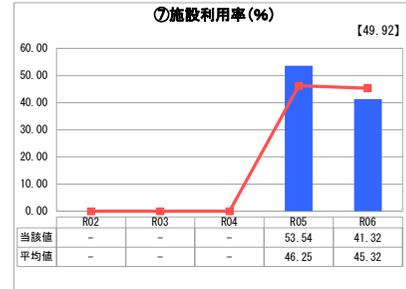
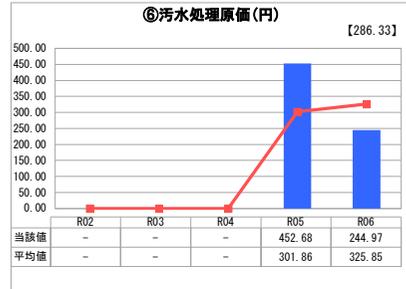
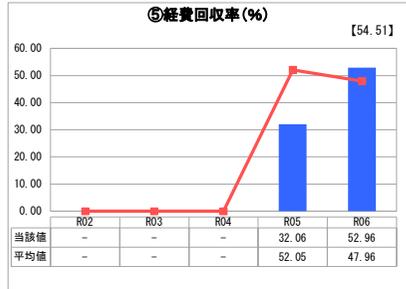
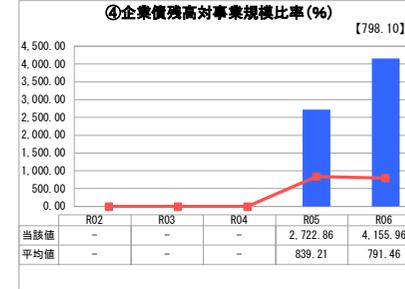
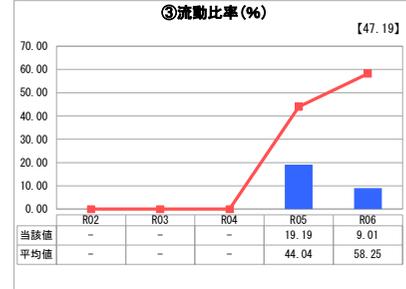
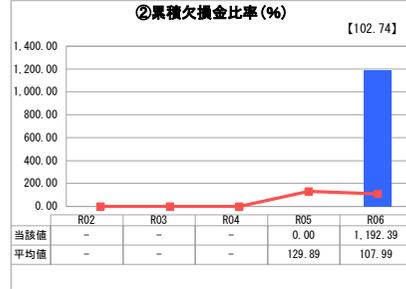
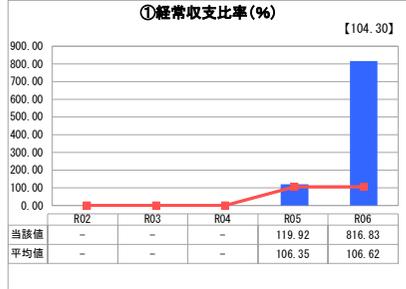
和歌山県 有田川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	60.38	3.96	127.07	2,640

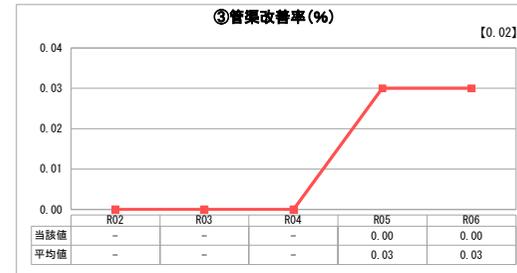
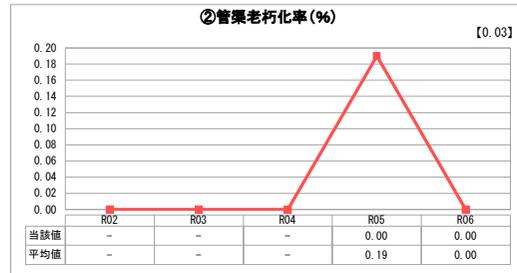
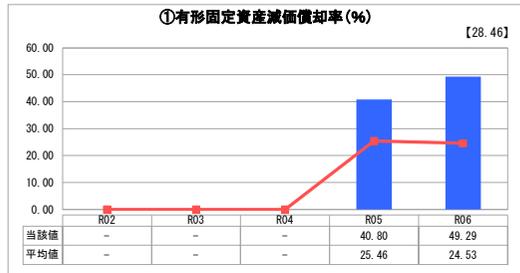
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
24,954	351.84	70.92
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
983	0.47	2,091.49

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
□ 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率、②累積欠損金比率
 経常収支比率が前年度より大幅に増加し、累積欠損金比率が生じているのは、一般会計に譲渡した有形固定資産の譲渡損を特別損失に計上し赤字が生じたためです。
 ③流動比率
 令和6年度は9.01%と1年以内に支払わなければならない負債に対し、未収金を含めた流動資産が大幅に不足しています。
 ④企業債残高対事業規模比率
 令和6年度は4,155.96%となっているが、5地区の整備にかかった企業債の残高に対し料金収入は統合前の1地区のみとなっているため割合が大きくなっています。
 ⑤経費回収率
 令和6年度は52.96%を料金収入で回収すべき経費を賄っているが、不足分については一般会計からの繰り出しにより賄っている。
 ⑥汚水処理原価
 令和6年度は有収水量1mあたり244.97円となっています。
 ⑦施設利用率
 令和6年度は41.32%となっているが、今後、公共下水道事業との統合により施設の統廃合を行い適正な施設規模を維持していきたい。
 ⑧水洗化率
 令和6年度は89.22%となっています。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
 令和5年度は49.29%と耐用年数の折り返しにいたる状態であることが分かります。
 公共下水道との統合後は、処理場を統廃合し有形固定資産の圧縮を図りますが、今後、内部留保資金を確保し計画的に更新改良を考えなくてはなりません。また、当町では法適用の際に残存価格ではなく取得時から減価償却を行ったため平均値を上回っています。
 ②管渠老朽化率、③管渠改善率
 法定耐用年数を経過していないため、管渠老朽化率および管渠改善率は共に0%です。

全体総括

当町の農業集落排水事業は、地域の実情に応じて5箇所の処理区域で整備されており、令和3年度より公共下水道事業との統合事業に着手し、令和3年度に1箇所、令和4年度に2箇所、令和5年度に1箇所、令和6年度に残り1箇所と順次事業統合を行いました。
 令和6年度は最終年度となり、事業も縮小したため前年度より各数値の増減が大きくなっています。統合により処理の一極化を行い、稼働しなくなった処理場を一般会計に無償譲渡を行ったため特別損失が発生し経常収支比率、累積欠損比率および企業債残高対事業規模比率が前年度より大幅に増加しています。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。